
君と坂道の出会いを.....

kamome23

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

君と坂道の出会いを……

【Nコード】

N5433Z

【作者名】

kamome23

【あらすじ】

僕がキミと出会った時に、すべてが動き出す。

キミと出会ったのは、桜咲く坂道だった。
その時、キミにときめいてしまった。
そして、教室で会ったとき、嬉しかった。

決意をするのだが、そんな僕は若かった。
会うだけで、言葉が出ずに困ってしまった。

告白しようにもできずに、
そのまま、

雲模様があやしくなり、
雨が降り続いてしまった。

でも、僕はあきらめなかった。
葉桜が咲く坂道を眺めて……

キミに話しかけたのは、セミが鳴く坂道だった。
その時に、僕はドキドキしていた。

そんな時に、僕は一言しか話せなかった。
でも、キミは、話しかけてくれた。微笑みかけてくれた。
太陽は輝いて、
サンサンと僕と君に降りかかった。

でも、キミは気にしなかった。
セミ鳴き、蒸し暑い坂道で……

キミとの出会いは嬉しかった。

坂道でキミを見たときの胸の鼓動は忘れられない。

でも、キミも坂道も、どちらかが一つがかけてもダメだった。

僕は、この二つの出会いに感謝した。

キミと坂道に出会ったことを……

キミと隣を歩いたのは、真っ赤な坂道だった。

その時に、僕は無性に悔しかった。

僕は何も言えずに、ただ隣を歩いた。

でも、キミはつなげてくれた。

コトバを……

坂道がさびしくなっても、キミは隣を歩いてくれた。

そんな中で、キミと僕は坂道で変わった。

何もかも、キミと坂道で……

その後、どうなったのかは、わからない。

誰にもわからない。

わかるのは、キミと坂道……

一つ一つの出来事はとても楽しく悲しかったけど、
感謝したいキミと坂道に……

キミと出会った時、

坂道で会った時、
その二つに感謝を
キミと坂道に………

(後書き)

短編なので、細かいところは省略しました。

すべて、読者のご想像にお任せします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5433z/>

君と坂道の出会いを.....

2011年12月18日10時50分発行